

越DGsのピクトグラムが完成

越 越 町おこし新聞

越越の未来へ発信

発行元 越越中学校
越越アンテナ隊
福井市大味町 29-83
電話 0776-89-2045
2021年10月5日発行
【第48号】

8月末、越越地区を持続可能にするために考えた「越DGs」の10個の小目標が決まりました。9月22日(水)にはその小目標を表すピクトグラムのデザインを越越中学校2年生が考え、それを2・3年生が木版画にしました。木版画作成の講師として、国見地区と越越地区の地域おこし協力隊として活躍されている版画家のおさの先生をお招きし、木版画の基礎から学び、素晴らしい作品を創り上げることができました。今後、作成したピクトグラムは越越地区だけでなく、県内外に発信していきたいと思っています。



「越DGs」10の目標が決定!!

最終目標「越越を残す」

最終目標を目指すための10の目標

- ・あふれる笑顔の町
- ・守ろう、まちの平和
- ・人が輝けるまちを
- ・海と山をフル活用
- ・伝統文化を大切に
- ・快適なまちづくりを
- ・より便利な越越に
- ・住み続けられる環境を
- ・越越の今を発信しよう!
- ・豊かな海に思いやりを

「越DGs」ピクトグラム作成に向けたみんなの思い

- ・少しでもこの活動で越越のことを知ってくれる人が増えたらいいな。
 - ・このピクトグラムはずっと残るものだと思うので、誰が見ても恥ずかしくないように美しく丁寧に彫りました。
 - ・越越が有名になって知ってくれる人が増え、越越に来てくれる人が増えてほしいです。
 - ・みんなに伝わりやすいように工夫してピクトグラムを作っています。
 - ・とても興味深いです。みなさんがピクトグラムデザインに込めた願いや思いが、学校全体から地域のみなさんに広がっていくことを願っています。
- (校長先生)



おさの先生に
インタビュー

ピクトグラムづくりをどう思いますか？

越越中学校のみなさんが真剣にまちづくりに関わっていますすごいと思います。ピクトグラムという表現方法で思いをのせることはとても貴重なことだと思います。また、版画として表現してもらえたことも嬉しく思います。このピクトグラムを通して、越越に住んでいる人に、みなさんの思いが伝わってほしいと思います。

※ピクトグラムとは？

一般的には「絵文字」や「絵単語」とよばれるもので、何かの「情報」や「注意」をわかりやすく示すために表示される視覚記号(サイン)の1つです。東京オリンピックのパフォーマンスでも注目されました。



卓球

7/13(火) 海岸清掃 & 町探検 & ワークショップ

7月13日(火)、越廼海水浴場において私たち越廼中学生は小学生や保護者の方と一緒に海岸清掃を行いました。海岸には海からプラスチックなどのたくさんのゴミが流れてきていました。約20分という短い時間でしたが、みんなの力でたくさんのごみを集めることができました。これからも越廼の海がみんなに愛される海であってほしいです。



海岸清掃を終えた後、中学生は福井大学・野嶋研究室の学生と一緒に越廼の町探検を行いました。町探検では、4つのグループに分かれ、蒲生・柴崎・大味地区の各家庭を訪問し、「何人で暮らしていますか?」「越廼で暮らしていて大変なことは何ですか?」などについてインタビューしました。越廼地区では高齢者一人で暮らしているお家がたくさんあることを知りました。今後は、地域の方と気軽に話ができるような活動も進めていきたいと思えます。



町探検を終えた後、午後から福井大学の学生の方々と「これから越廼地区のまちづくりをどのように進めるとよいか」について、話し合いを行いました。あるグループでは、午前中のインタビューでは、「買いたい物が大変」という声が多かったので、買いたい物をしやすくするにはどうするとよいかなどについて活発に話し合いました。



学生のサポートでたくさんアイデアを出すことができました

「越DGSサミット」開催

9月4日(土)、越廼中学校で学校祭が行われました。午前中は、「越DGSサミット」と称し、福井市まち未来創造課より酢谷氏、八木氏を講師として招き、「人口減少時代に立ち向かおう」をテーマに、現在、福井市が抱える課題やそれを改善するための取り組みについて酢谷氏に講演をしていただきました。公演後には、中学生とその保護者と一緒に「越DGS」の小目標を達成するための具体的な取り組みについて考えました。話し合いの中で、越廼地区全体でゴミ拾いを行うおうという「越廼クリーン化計画」、越廼の秋祭りや蛸、きれいな夕日などの様子を「YouTubeなどで配信しよう」というアイデア、また、定期的に越廼に訪れる移動販売に地域の方の要望を取り入れてもらい、今後も販売に來てもらえるように働きかけるための「移動販売の継続」などのアイデアが出されました。今後は、「越DGS」の目標達成につながるようなアイデアが実現可能なものとなるように、12月の越廼サミットで話し合いを行いたいと思います。



<企画案>

移動販売の継続 (この特産品を売る)

<企画の大まかな内容>

- ・移動販売車の隣でイベントを行う
- ・地域のの人に移動販売でほしい物を調査

<企画に関わる越DGS小目標>

関わる小目標	企画のどのような部分に関わるのか
① より便利な越廼に	買い物ができる
② 快適なまちづくりを	=

<企画案>

YouTubeで越廼を配信

<企画の大まかな内容>

- ・祭りなどの配信・蛸のライブ配信・夕日ライブ配信
- ・清掃活動のライブ・海の様子を配信
- ・行事のお知らせ(魚祭り、おせみ祭りなど)

<企画に関わる越DGS小目標>

関わる小目標	企画のどのような部分に関わるのか
⑧ 越廼の今を配信しよう。	行事
⑦ 海と山をフル活用	海の様子を伝える
⑨ 伝統文化を大切に	秋祭りなどの伝統的文化について伝える。
⑩ 豊かな海に思いやりを	自然・夕日 清掃

<企画案>

地域の方と交流会を開く

<企画の大まかな内容>

- ・地域ごとで交流会を開く
- ・交流センターをつくる。(電話で話す)
↳公民館とつなぐ

<企画に関わる越DGS小目標>

関わる小目標	企画のどのような部分に関わるのか
① あふれる笑顔の町	会話する→笑顔の町

越前海岸エリアの人口

◆越廼地区を含む越前海岸エリアの人口は
約15年で2,000人減少



人口減少を克服するためには

■人口減少対策に **特効薬は、ない**

■いずれかひとつの施策だけが、最適解ではない代わりに、

いずれの施策も、人口減少対策に結びつかないものは、ひとつもない。

まち未来創造課・酢谷氏の講演のスライドの一部です。